## 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制 (7月報告)

	務医の勤務時間及び当直を含む	かた夜間の勤務状況	兄の把握			
	04年7月1日時点) 	25 #1	( ) 7	-1- <del>25</del> #4		\ <i>A</i> 7
广送	医療機関に勤務する医師数	常勤:	()名  )を担当する医師(	非常勤: 2 (うち非	: 告	)名 )名)
		旧口ഥ(↑)	*1 宿日直については、			
イ 掠	院勤務医の勤務状況の把握等	(令和4年6月分)	THE PERSON CONT	1 1 3 1 3 3 3 3 1 1 1		1044,70-27
	(ア) 勤務時間の具体的な把	握方法	□ タイムカード、IC	カード		
			□ 出席簿又は管理	簿等の用紙による	記録(上司等)	こよる客観的な確認あり
			□ その他			
			(具体的に:			)
	(イ) 勤務時間以外について(			7 ch + 6 - 27 / - 6 \ ""		
	口 年次有給休暇取行			§実施者( * 3) 数		
	□ 育児休業·介護休 □	未の収付平	□ その他 (具体的に			)
	*2 前年度の実	績を記載 -	(共体的に			,
		順を記載。 間をあらかじめ減じた勤	務体制としている者			
	(ウ) 超過勤務時間(時間/月	引)(*4)				
	平均: (	)時間/月	80時間/月	以上の者の人数:	(	)名
	最大: (	)時間/月	155時間/月	以上の者の人数:	(	)名
	最小: (	)時間/月				
	(工) 宿日直(回/月)	平均: 最大:	( )回/ ( )回/			
		最小·	( )回/	月		
		最小 : 連日当直を	()回/ 実施した者の人数及び	-	)名・のべ(	)回
	(オ) その他(自由記載・補足	連日当直を		-	)名・のべ(	)回
	(オ) その他(自由記載・補足	連日当直を		-	)名・のべ(	)回
	(オ) その他(自由記載・補足	連日当直を		-	)名・のべ(	) 🛭
/ <b>^</b> ***		連日当直を		-	)名・のべ(	) 🛽
	口3年7月1日時点)	連日当直を 等)	実施した者の人数及び	回数: (	)名・のべ(	
		連日当直を等)	実施した者の人数及び	事常勤:	(	)名
	口3年7月1日時点)	連日当直を等)	実施した者の人数及び	- Magnetic ( - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。	(	)名 )名)
ア 医	口3年7月1日時点)	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師(	- Magnetic ( - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。 - Magnetic ( ) までいます。	(	)名 )名)
ア 医	3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師(	   非常勤:   3名(うち非   平日の平均的な1日に	(	)名 )名)
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 同院勤務医の勤務状況の把握等	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1 宿日直については、	#常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) i記載すること)
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 同院勤務医の勤務状況の把握等	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1 宿日直については、 ロ タイムカード、IC ロ 出席簿又は管理 ロ その他	#常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 病院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1 宿日直については、 □ タイムカード、IC □ 出席簿又は管理 □ その他 (具体的に:	#常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) i記載すること)
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 病院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1宿日直については、	# 非常勤:	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 病院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把 (イ) 勤務時間以外についての ロ 年次有給休暇取得	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 の勤務状況(*2)の	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1宿日直については、	#常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 病院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 の勤務状況(*2)の	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1宿日直については、	#常勤: ( 非常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード (簿等の用紙による) 3実施者(*3)数	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 病院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把 (イ) 勤務時間以外についての ロ 年次有給休暇取得	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 の勤務状況(*2)の 身率 業の取得率	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1宿日直については、	#常勤: ( 非常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード (簿等の用紙による) 3実施者(*3)数	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり )
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 原院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把 (イ) 勤務時間以外についての ロ 年次有給休暇取行 ロ 育児休業・介護休	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 の勤務状況(*2)の 身率 業の取得率	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1 宿日直については、	#常勤: ( 非常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード (簿等の用紙による) 3実施者(*3)数	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり )
ア 医	回3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 原院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把 (イ) 勤務時間以外についての ロ 年次有給休暇取行 ロ 育児休業・介護休	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 D勤務状況(*2)の 导率 業の取得率 績を記載。 間をあらかじめ減じた勤	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1 宿日直については、	#常勤: ( 非常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード (簿等の用紙による) 3実施者(*3)数	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり )
ア 医	ロ3年7月1日時点) 医療機関に勤務する医師数 原院勤務医の勤務状況の把握等 (ア) 勤務時間の具体的な把 (イ) 勤務時間以外についての ロ 年次有給休暇取行 ロ 育児休業・介護休 *2 前年度の実 *3 所定労働時	連日当直を 等) 常勤: 宿日直(*1 (令和3年6月分) 握方法 D勤務状況(*2)の 导率 業の取得率 績を記載。 間をあらかじめ減じた勤	実施した者の人数及び ( )名 )を担当する医師( *1宿日直については、 □ タイムカード、IC □ 出席簿又は管理 □ その他 (具体的に: 把握内容 □ 時短勤務 □ その他 (具体的に	#常勤: ( 非常勤: )名(うち非 平日の平均的な1日に カード (簿等の用紙による) 3実施者(*3)数	( 常勤( おける体制を記	)名 )名) 記載すること) こよる客観的な確認あり )

展大: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 (才)その他(自由記載・補足等)    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年8月1日時点    2年7月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    2年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日時点    3年8月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	(エ) 宿日直(回/月)	平均:	(	)回/月			
連日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回 (才)その他(自由記載・補足等)    本記: ( )名   非常語: ( )名   非常語: ( )名		最大:	(	)回/月			
(才) その他(自由記載・補足等)    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年7月1日時点    2年7月1日時点    3年11年11日前点    3年11年11日前に第11年11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第11日前に第1		最小:	(	)回/月			
2年7月1日時点    2年7月1日時点    3年   3年   3年   3年   3年   3年   3年		連日当直	を実施した者	音の人数及び回数:	(	)名・のべ(	)回
探動: ( ) 名   非常動: ( ) 名	(オ) その他(自由記載・補足	等)					
探動: ( ) 名   非常動: ( ) 名							
国由直・1・を担当する医師数:		<b>尚</b> 恭.	/	\#	北農耕		\#
*1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること) (ア) 勤務時間の具体的な把握方法	は「大大学のでは、		•				
(ア) 勤務時間の具体的な把握方法		佰日旦(*1)					
(ア) 勤務時間の具体的な把握方法	≐計数医の計数化温の担保等	(今和2年6日公)		直に がいては、千日の	7千均的な1口	このこの字型で記	戦すること
□ 出席簿又は管理簿等の用紙による記録(上司等による書観的な確認 □ その他 (具体的に: ) (イ) 勤務時間以外についての勤務状況(*2)の把握内容 □ 年次有給休暇取得率 □ 時短勤務実施者(*3)数 □ 育児休業・介護休業の取得率 □ その他 (具体的に: ) *2 前年度の実績を記載。 *3 新定労働時間をあらかじめ滅した勤務体制としている者 (伊) 超過勤務時間(時間/月)(*4) 平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 10月 155時間が、月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 10月 155時間が、月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 10月 155時間が、月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )回/月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20				(/. h_k ich_k	,		
(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(*2)の把握内容 □ 年次有給休暇取得率 □ 時短勤務実施者(*3)数 □ 育児休業・介護休業の取得率 □ その他 (具体的に: ) *2 前年度の実績を記載。 *3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者 (グ) 超過勤務時間(時間/月)(*4) 平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100	(7) <u>2</u> 33554 1-100 2 (17:43 0010)		□出版□その	席簿又は管理簿等 の他		5記録(上司等に	
□ 年次有給休暇取得率 □ 時短勤務実施者(*3)数 □ 育児休業・介護休業の取得率 □ その他 (具体的に: ) *2 前年度の実績を記載. *3 所定労働時間をわらかじめ減じた勤務体制としている者 ((ウ) 超過勤務時間(時間/月)(*4) 平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 2011年1月、21年、4年、21年の日本の人数: ( )名 最小: ( )時間数及び法定体日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務ありにおいて労働した時間の総和 ((工) 宿日直(回/月) 平均: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 ( )回/用 ( )回/月 ( )回	(イ) 勤務時間以外についての	の勤務状況(*2)					,
□ 育児休業・介護休業の取得率 □ その他 (具体的に: ) *2 割年度の実績を記載。 *3 所定労働時間をあらかじめ滅じた勤務体制としている者 (ウ) 超過勤務時間(時間)月)(*4) 平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 2月					者(*3)数		
*2 前年度の実績を記載。     *3 所定労働時間をあらかじめ滅じた勤務体制としている者  (ウ) 超過勤務時間(時間/月)(*4)     平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 *4 常勤医における値を記載。     *4 常勤医における値を記載。     *8 4 超過勤務時間: 法定体日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間を設した時間の総和  (エ) 宿日直(回/月) 平均: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最大: ( )回/用 最大: (							
*2 前年度の実績を記載。 *3 所定労働時間をあらかじめ滅じた勤務体制としている者  (ウ) 超過勤務時間(時間) 月) (* 4) 平均: ( )時間 月 80時間 月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間 月 155時間 月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間 月  *4 常勤医における値を記載。 *4 4 超過勤務時間: 法定体日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間が近に1週について40時間を超えて労働した時間の総和  (エ) 宿日直(回ノ月) 平均: ( )回ノ月 最大: ( )回ノ月 最大: ( )回ノ月 最大: ( )回ノ月 (オ) その他(自由記載・補足等)  (本) その他(自由記載・補足等)  (本) その他(自由記載・補足等)  (本) での他(自由記載・補足等)  (本) での他(自由記載・補足等にいること。 オンコール体制の構築		N					)
(ウ) 超過勤務時間(時間/月)(*4) 平均: ( )時間/月 80時間/月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 155時間/月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間/月 *44常勤度における値を記載。 *44常勤度における値を記載。 *44短勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和  (エ) 宿日直(回/月) 平均: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 ま日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回 (オ) その他(自由記載・補足等)  (本) 年の他(自由記載・補足等)  (本) 年の他(自由記載・補足等)  (本) 年月( 「要件]短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月) 「要件]短時機関全体で、医師60人(常勤検算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) 「要件]当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること。 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) 「要件]当該医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域・物中麻酔管理領域・物中麻酔管理領域・教急領域 ・教急領域 ・教力においているには、中に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	*2 前年度の実	績を記載。					,
平均: ( )時間 / 月 80時間 / 月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間 / 月 155時間 / 月以上の者の人数: ( )名 最大: ( )時間 / 月 155時間 / 月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間 / 月 * 4 年勤医における値を記載。 * 4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間の総和	*3 所定労働時	間をあらかじめ減じた	勤務体制として	いる者			
最大: ( )時間 月 155時間 月以上の者の人数: ( )名 最小: ( )時間 月	(ウ) 超過勤務時間(時間/月	月)(*4)					
最小: ( )時間/月	平均: (	)時間/月		80時間/月以上0	つ者の人数:	(	)名
*4 常勤医における値を記載。 *4 超過勤務時間: 法定休日以外の目において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間の終和  (エ) 宿日直(回/月) 平均: ()回/月 最大: ()回/月 最大: ()回/月 最小: ()回/月 最小: ()回/月	最大: (	)時間/月		155時間/月以上	の者の人数	: (	)名
時間数及び法定体日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和  (エ) 宿日直(回/月) 平均: ( )回/月 最大: ( )回/月 最小: ( )回/月 最小: ( )回/月 東小: ( )回/月 東日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回 (オ)その他(自由記載・補足等)  (オ)その他(自由記載・補足等)  (本) (年 月) (本 日) (本 月) (本 日) (本 月) (本	最小: (	)時間/月					
最大: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 連日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回 (オ)その他(自由記載・補足等) ( 本 月) ( 要件)短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月) ( 要件)短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。 2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月) ( 要件)医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) ( 要件)当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) ( 要件)急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・物种麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	* 4 常勤医にお	ける値を記載。	71-401	ort 99 f to	N/		100±00±100±100
最大: ( )回ノ月 最小: ( )回ノ月 連日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回 (オ)その他(自由記載・補足等) ( 本 月) ( 要件)短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月) ( 要件)短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。 2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月) ( 要件)医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) ( 要件)当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) ( 要件)急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・物种麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	* 4 常勤医におい * 4 超過勤務時	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のE					40時間を超えて労
最小: ( )回ノ月 連日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回  (オ)その他(自由記載・補足等)  (準・C水準等に相当する医師の働き方改革に向けた具体的な取組(実施している取組にチェックし、開始年月を回答)  1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月)  【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。  2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月)  【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。  オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。  3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月)  【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること  4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)  【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。・外科手術後管理領域 ・・外科手術後管理領域 ・・外科系基本領域 ・・集中治療領域 ・・教急領域  5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時 時間数及び法定化	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のF 休日(週に1日、又は、	4週につき4日	1付与する義務あり)に			40時間を超えて労
連日当直を実施した者の人数及び回数: ( )名・のべ( )回  (オ)その他(自由記載・補足等)  (準・C水準等に相当する医師の働き方改革に向けた具体的な取組(実施している取組にチェックし、開始年月を回答)  1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月)  【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。  2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月)  【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。  オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。  3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月)  【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること  4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)  【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域  5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時 時間数及び法定化	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のE 休日(週に1日、又は、 平均:	4週につき4日 (	1付与する義務あり)に )回/月			40時間を超えて労
(オ) その他(自由記載・補足等)  (津・C水準等に相当する医師の働き方改革に向けた具体的な取組(実施している取組にチェックし、開始年月を回答)  1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月)  【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。  2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月)  【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。  オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。  3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月)  【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること  4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)  【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・物中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域  5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時 時間数及び法定化	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のE 木日(週に1日、又は、 平均: 最大:	4週につき4日 (	l付与する義務あり)に )回/月 )回/月			40時間を超えて労
(準・C水準等に相当する医師の働き方改革に向けた具体的な取組(実施している取組にチェックし、開始年月を回答) 1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月) 【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。 2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月) 【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) 【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・物中麻醉管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時 時間数及び法定化	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のE 木日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小:	4週につき4日 ( (	付与する義務あり)に     )回/月   )回/月   )回/月	おいて労働した	時間の総和	
<ul> <li>1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月)</li> <li>【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。</li> <li>2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月)</li> <li>【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。</li></ul>	*4常勤医におい *4超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月)	tる値を記載。 間: 法定休日以外のほ 休日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直	4週につき4日 ( (	付与する義務あり)に     )回/月   )回/月   )回/月	おいて労働した	時間の総和	
<ul> <li>1 短時間勤務正規雇用医師の活用 □ ( 年 月)</li> <li>【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。</li> <li>2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月)</li> <li>【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。</li></ul>	*4常勤医におい *4超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月)	tる値を記載。 間: 法定休日以外のほ 休日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直	4週につき4日 ( (	付与する義務あり)に     )回/月   )回/月   )回/月	おいて労働した	時間の総和	
【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。  2 オンコール体制の構築	*4常勤医におい *4超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月)	ナる値を記載。 間: 法定休日以外のほ 休日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直	4週につき4日 ( (	付与する義務あり)に     )回/月   )回/月   )回/月	おいて労働した	時間の総和	
2 オンコール体制の構築 □ ( 年 月) 【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定 (エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足	する値を記載。 間: 法定休日以外のB 休日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直	4週につき4日 ( ( ( を実施した者	付与する義務あり)に   )回/月   )回/月   )回/月   音の人数及び回数:	おいて労働した	ける・のべ(	)回
【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 ロ (年月) 【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用ロ (年月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用ロ (年月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 (準・C水準等に相当する医師・ 1 短時間勤務正規雇用医師	する値を記載。 間: 法定休日以外のほ 休日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直 等)	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 IIナた具体的 年 月	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 うの人数及び回数: な取組(実施してし	おいて労働した	ける・のべ(	)回
オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。 3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) 【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 (準・C水準等に相当する医師の 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇居	大る値を記載。 間: 法定休日以外のほ 木日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直 等)	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 日けた具体的 年 戸	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 うの人数及び回数: な取組(実施してし	おいて労働した	ける・のべ(	)回
3 複数主治医制の実施 □ ( 年 月) 【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 (準・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用 2 オンコール体制の構築	する値を記載。 間: 法定休日以外のほ 木日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直 等)	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 日けた具体的 年 戸 〒20人につき	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 所の人数及び回数: な取組(実施してします。 な取組(実施してします。)	おいて労働した ( いる取組にチェ	時間の総和 )名・のべ(	)回
【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること 4 特定行為研修終了看護師の活用 ロ ( 年 月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・・你中麻酔管理領域 ・・外科系基本領域 ・・集中治療領域 ・・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 ロ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定(エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 英・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用と 2 オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医	大る値を記載。 間: 法定株日以外のは、 平均: 最大: 最小: 連日当直等) の働き方改革に( 可活師を常勤医師の活所 ロ 500 (第動換算)	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 日けた具体的 年 月 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	(付与する義務あり)に   )回/月   )回/月   )回/月   音の人数及び回数:   な取組(実施してし   引)   き1人以上雇用し   引)   人以上オンコール	おいて労働した ( いる取組にチ: ていること。 医師がいる。	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年	)回
4 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月) 【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定(エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 (準・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇居 2 オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医 オンコール医師が所	大る値を記載。 間: 法定株日以外のほ 株日(週に1日、又は、 平均: 最大: 最小: 連日当直 等) の働き方改革に向 の活用 □ 気 で活用 □ 気 でに関係では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 年 月 ( ( を実施した者 年 月 ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	(付与する義務あり)に   ()回/月   )回/月   )回/月   )回/月   6の人数及び回数: な取組(実施してします)   き1人以上雇用します   )   大以上不フコール   してに宿日直をし	おいて労働した ( いる取組にチ: ていること。 医師がいる。	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年	) 🛭
【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・救急領域  5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定(エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 準・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用と オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医オンコール医師が所 3 複数主治医制の実施	大る値を記載。 間: 法定株日以外のほ 株日(週に1日、又は、 平均: 最小: 連日 当直 等) の働き方改革に向 のの活用 常動( 用医師を関するを関するを にのものものは、 第4の目 のものものものは、 第4の目 のものものものは、 第4の目 のものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 年 月 ( ( を実施した者 年 月 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )の人数及び回数: な取組(実施してします。) き1人以上雇用します。 人以上オンコール 人以上宿日直をします。	おいて労働した ( ていること。 医師がいる。 ていないこと	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年	)回
<ul> <li>・術中麻酔管理領域</li> <li>・外科系基本領域</li> <li>・集中治療領域</li> <li>・救急領域</li> <li>5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)</li> </ul>	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定(エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 準・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇房 2 オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医 オンコール医師が所 3 複数主治医制の実施 【要件】当該医療機関の標榜	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 当直 等) の働き方改革に向いるが 日医師を常動 (第 新科の[編する診療科の[を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	4週につき4日 ( ( ( を実施した者 を実施した者 を実施した者 を実施した者 のののでは、同じては、同じては、同じては、同じては、同じでは、同じでは、同じでは、同じでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(付与する義務あり)に   ()回/月   )回/月   )回/月   )回/月   )回/月   (	おいて労働した ( ていること。 医師がいる。 ていないこと	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年	)回
<ul> <li>・外科系基本領域</li> <li>・集中治療領域</li> <li>・救急領域</li> <li>5 特定行為研修終了看護師の活用 口 ( 年 月)</li> </ul>	*4 常勤医におい *4 部通監防 *4 超過勤務時時間数及び法定( 工) 宿日直(回/月) (オ) その他(自由記載・補足 ( 本・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇所 2 オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医 オンコール医師が所 3 複数主治医制の実施 【要件】当該医療機関の標榜 4 特定行為研修終了看護師 ( 要件 ) 急性期医療に係る以下の	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
<ul><li>・集中治療領域</li><li>・救急領域</li><li>5 特定行為研修終了看護師の活用 口 ( 年 月)</li></ul>	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定(エ)宿日直(回/月)  (オ)その他(自由記載・補足  (本)をの他(自由記載・補足  (本)をの他(自由記述  (本)をの他(自由記述	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
・救急領域 5 特定行為研修終了看護師の活用 □ ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 超過勤務時時間数及び法定化 *4 超過勤務時時間数及び法定化 (エ)宿日直(回/月) (オ)その他(自由記載・補足 (英・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇用医師【要件】医療機関全体で、医オンコール体制の構築 【要件】医療機関全体で、医オンコール医師が所 3 複数主治医制の実施 【要件】当該医療機関の標榜 4 特定行為研修終了看護師の【要件】急性期医療に係る以下の行っていること。・外科手術後管理領域	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
5 特定行為研修終了看護師の活用 口 ( 年 月)	*4 常勤医におい *4 認過勤務時時間数及び法定化 *4 超過勤務時時間数及び法定化 (エ) 宿日直(回/月) (オ) その他(自由記載・補足 (英・C水準等に相当する医師 1 短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間動務正規雇別全体で、医オンコール体制の構築 (要件】医療機関全体で、医オンコール医師が所 3 複数主治医制の実施 (要件】当該医療機関の標榜 4 特定行為研修終了看護師の【要件】急性期医療に係る以下の行っていること。・外科手術後管理領域・術中麻酔管理領域	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
	*4 常勤医におい*4 超過勤務時時間数及び法定化*4 超過勤務時時間数及び法定化(工)宿日直(回/月)  (オ)その他(自由記載・補足 (本・C水準等に相当する医師・1 短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間動務正規雇用医師【要件】短時間動務正規雇「2 オンコール体制の構築【要件】医療機関全体で、医オンコール医師が所、3 複数主治医制の実施【要件】当該医療機関の標榜:4 特定行為研修終了看護師の【要件】急性期医療に係る以下の行っていること。・外科手術後管理領域・術中麻酔管理領域・外科系基本領域	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
【要件】〇対1の割合で医師事務作業補助者を配置していること。 (対1)	*4 常勤医におい*4 超過勤務時時間数及び法定化*4 超過勤務時時間数及び法定化(工)宿日直(回/月)  (オ)その他(自由記載・補足(準・C水準等に相当する医師・1 短時間勤務正規雇用医師【要件】短時間勤務正規雇居と2 オンコール体制の構築(要件】短療機関全体で、医オンコール医師が所)3 複数主治医制の実施【要件】当該医療機関の標榜に要件】当該医療機関の標榜に要件】急性期医療に係る以下の行っていること。・外科手術後管理領域・術中麻酔管理領域・・外科手術後管理領域・・外科系基本領域・集中治療領域	大る値を記載。 間: 法定株日以外の時本日(週に1日、又は、平均: 最大: 最小: 連日 日本	4週につき4日 ( ( ( ( kb th	(付与する義務あり)に )回/月 )回/月 )回/月 )回/月 (の人数及び回数: な取組(実施してしまする) き1人以上雇用します。 人以上オンコール しいまするとします。 はないのうち半 (は、)のうち半 (は、)のうち半	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること
	*4 常勤医におい *4 部通勤務時時間数及び法定( *4 超過勤務時時間数及び法定( (エ) 宿日直(回/月)  (オ) その他(自由記載・補足 (準・C水準等に相当する医師) 1 短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇用医師 【要件】短時間勤務正規雇院を開金体が所) 3 複数主治医制の実施 【要件】当該医療機関の標榜。 4 特定行為研修終了看護師の「、外科手術後管理領域・・外科手術後管理領域・・外科系基本領域・・外科系基療領域・・教急領域 5 特定行為研修終了看護師の	# Table	4週につき4日 ( ( ( ( 施 L た 表 を 上 ) ( ) ( ( L た 表 を 上 ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	(付与する義務あり)に   ()回 / 月	おいて労働した (  ハる取組にチ: ていること。 医師がいる。 ていないこと 数以上で複数	時間の総和 )名・のべ( エックし、開始年 こと。 こ。  数主治医制を導	)回 F月を回答) i入していること